

自分を磨く 資格特集

資格取得で「不動産のプロ」へ

ビジネス環境に起る大きな変化

中沢誠(一般社団法人不動産ビジネス専門家協会代表理事)

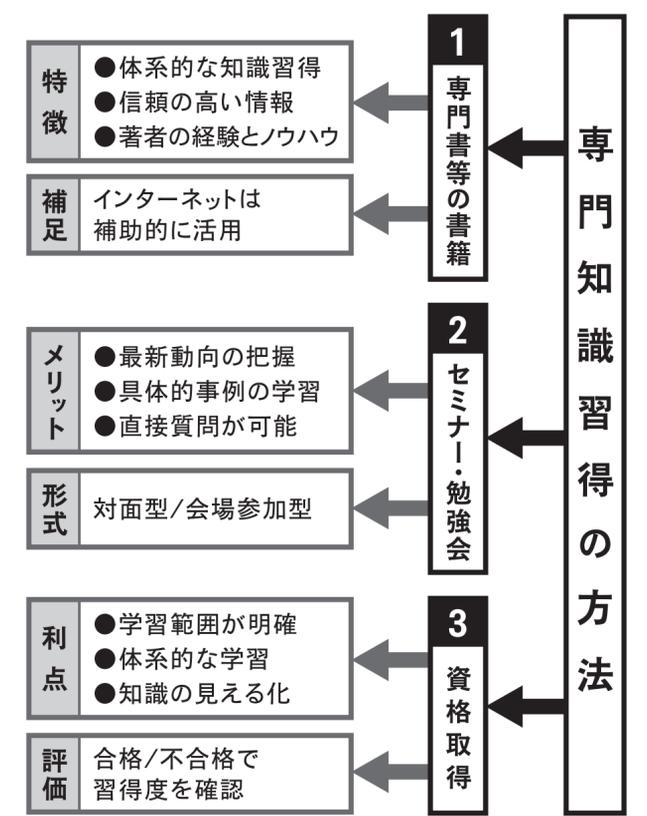
不動産というのは、人間の社会共同生活に必要な不可欠なものであり、不動産を取り扱う事業(不動産業)の社会的な重要性、意義というのは非常に高いものです。このため、この世に人や企業がある限り、不動産業が社会的に重要な産業であり続けることは間違いなく、今後も不動産ビジネスを取り巻く環境は大きく変化しつづけます。ICT(情報通信技術)の著しい発展により、物件情報も、不動産に関する専門知識も、インターネットで誰でもアクセスできるようになり、不動産業者が「情報の非対称性」によって商売をしていくことが難しくなりました。

「この分野で活躍するには、専門知識を磨くことが重要」といって、今後不動産ビジネスに従事される方には、「自分の専門性を磨くこと」を意識して頂きたいと思っております。自分の専門性を磨くことは、顧客からの信頼獲得、選択肢が増える、知識と実務経験のどちらが大事か、知識を習得することが大事だ、という話をした場合、単に知識の取得を目指すだけではなく、これまでに従事してきた業務や案件での経験と組み合わせることで、より高度な専門性を築くことができるでしょう。



不動産ビジネス環境の大きな変化に対応するためにも「自分の専門性を磨くこと」が必須

専門知識を習得する3つの方法



資格は、自分が持っている知識を「見える化」することができる

●資格取得のメリット
●資格取得のデメリット
●資格取得の方法
●資格取得の準備

① 顧客からの信頼獲得

先述のとおり、インターネットで誰でも様々な情報を得られる時代です。このため、ネットサーフィンで知識を得ただけになってしまいがちです。しかし、そんな薄っぺらな知識しか持っていない顧客に、情報収集に熱心な顧客に到底太刀打ちすることができません。

② 問題解決能力の向上

問題解決能力とは、問題や課題があること(気づき)を、その問題の解決策を考案し実行し、解決すること(気づき)を指します。

③ 選択肢が増える

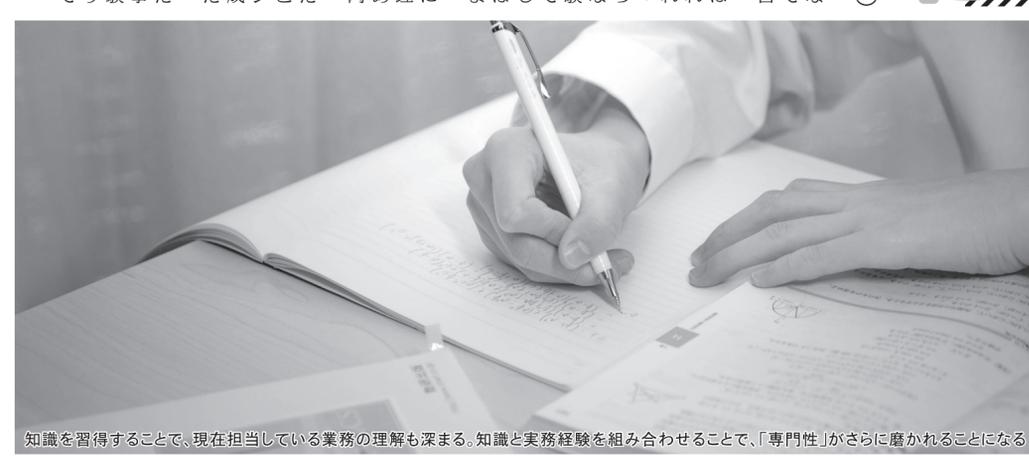
専門知識を習得することで、担当している業務に対する理解が深まり、業務に対する取り組みやすくなります。また、専門知識を習得することで周囲からの評価が高まり、その結果、担当できることが増えたり、昇進できたりすることもあります。

知識と実務経験のどちらが大事か

知識を習得することが大事だ、という話をした場合、単に知識の取得を目指すだけではなく、これまでに従事してきた業務や案件での経験と組み合わせることで、より高度な専門性を築くことができるでしょう。

知識と実務経験のどちらが大事か

知識を習得することが大事だ、という話をした場合、単に知識の取得を目指すだけではなく、これまでに従事してきた業務や案件での経験と組み合わせることで、より高度な専門性を築くことができるでしょう。



知識を習得することで、現在担当している業務の理解も深まる。知識と実務経験を組み合わせることで、「専門性」がさらに磨かれることになる

競売不動産取扱主任者[®]

第二のマーケット「競売市場」を担う！ 広がる営業チャンス・深める専門性！

業務にも役立つ実務的な知識を得て、ワンランク上の「専門家」へ！

令和7年度試験概要

令和6年度試験実績

【試験日】12月14日(日) ※年1回
【受付期間】8月1日(金)～10月31日(金)
【出題形式】マークシート方式 四肢択一 全50問
【出題範囲】不動産競売実務、民事執行法、民事訴訟法、民法、宅地建物取引業法、都市計画法、建築基準法、税法、裁判所資料の正確な理解、競売不動産の出品から落札、明渡までとその不随するものの法律知識等。

試験センター <https://fkr.or.jp>

一般社団法人 不動産競売流通協会 (FKR)

ADR(裁判によらない紛争解決)は、公正・中立な第三者(調停人)を交えた、当事者の自由な話し合いにより、紛争の柔軟な解決を目指します。

法務大臣認証裁判外紛争解決機関

一般社団法人 日本不動産仲裁機構

日本不動産仲裁機構ADRセンター

●東京本部：〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番5号 日本橋吉泉ビル2F
●大阪本部：〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3丁目5番13号 創建御堂筋ビル7F
●広島支部：〒732-0821 広島県広島市南区大須賀町17番5号 シャンポール広交2F

当機構は、全国の弁護士及び不動産関連の専門団体とのネットワークによって形成される民間ADR機関です。
<平成29年3月15日に、下記の4分野において法務大臣より裁判外紛争解決機関の認証を受けました>

- 不動産の取引に関する紛争
- 不動産の管理に関する紛争
- 不動産の施工に関する紛争
- 不動産の相続その他の承継に関する紛争

調停人基礎資格※の一例

- 競売不動産取扱主任者(不動産競売流通協会)
- JSHI公認ホームインスペクター(日本ホームインスペクターズ協会)
- 相続診断士(相続診断協会)
- 住宅建築コーディネーター(住宅建築コーディネーター協会)
- 住宅ローン診断士(日本住宅ローン診断士協会)
- 太陽光発電メンテナンス技士(太陽光発電安全保安協会)
- 雨漏り検診士(雨漏り検診技術開発研究所)
- 民泊適正管理主任者(日本民泊適正推進機構)
- 土地活用プランナー(東京共同住宅協会)
- シックハウス診断士(シックハウス診断士協会)
- 太陽光発電アドバイザー(日本住宅性能検査協会)
- 相続財産再鑑定士(相続財産再鑑定協会)
- サブリース建物取扱主任者(日本住宅性能検査協会)
- 住宅販売士(全国住宅営業認定協会)
- 小売電気アドバイザー(日本住宅性能検査協会)
- 再エネアドバイザー(日本住宅性能検査協会)
- 敷金診断士(日本住宅性能検査協会)
- 投資不動産取引士(投資不動産流通協会)
- カビ・ダニ測定士(日本環境保健機構)
- リフォーム提案士(全国住宅営業認定協会)
- 任意売却取扱主任者(全国任意売却協会)
- 不動産仲介士(日本レジデンシャル・セールスプランナーズ協会)
- 任意売却不動産コーディネーター(不動産競売流通協会)
- 宅地建物取引士<不動産相談員研修修了>(住宅新報)
- 建築士<JCAABE推薦>(日本建築まちづくり適正支援機構<JCAABE>)
- ペット共生型住環境アドバイザー(日本環境保健機構)
- マンション防災推進アドバイザー(日本環境保健機構)
- 空気環境アドバイザー(日本室内空気保健協会)
- トコジラミ適正管理主任者(寝室環境衛生管理協会)

詳しくはWEBをご参照ください。
<https://jha-adr.org/>

日本不動産仲裁機構では、不動産トラブルに関係する各種の専門資格との連携を進めています。最新情報につきましては、日本不動産仲裁機構ホームページでご確認ください。

TEL.03-3524-8013 / FAX.03-6869-1773

《資格取得で広がる活躍の場》

自分を磨く 資格特集

キャリアの8割は 偶然的出来事で決まる

変化の激しい現代社会においては、自分ではコントロールすることができないことが起こります。キャリアプランを立てていても、外部からの影響でうまくいかないこともあります。

「たまたま偶然に身を任せればうまくいく」という話ではなく、「想定外の出来事をキャリアに変える行動を」という意識的に行動することによってキャリアがどうなるかという理論なのです。

勉強は決して 無駄にならない

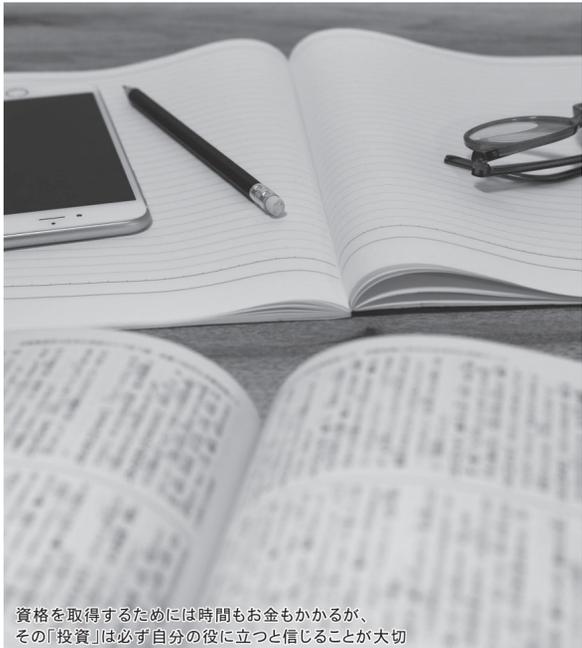
「勉強は決して無駄にならない」といいますが、これはどのような資格であっても知識の習得に役に立つことば

間違いないことばです。自分が興味をもったものであれば、その資格に挑戦しても良いと思います。とはいえ、資格を取得するために時間もお金もかかるので、「自身の目的に合せて慎重に選ぶ必要がある」といいます。

資格の取得によって、顧客からの信頼獲得、就職転職での優位性など、様々なメリットを得ることが期待できます。不動産の専門家(プロフェッショナル)として活躍したいと考えている方は、資格の取得を積極的に検討してみたいかがでしょうか。

資格を取得するためには時間もお金もかかるが、その「投資」は必ず自分の役に立つと信じるのが大切

自分に合った資格の取得を



【業務内容】

居住用の不動産を購入する消費者にとっては、購入すべきタイミングや購入に向けてのスケジュールはどのようにすればいいのか、無理なく返済できる資金計画はどのように考えればいいのか、住宅ローンは何を選んだらいいのか、案内を受ける際には何を気をつけなければならないかなど、分からないことが多い。一方、自身の住まいを売却したい方にとっては、いかに早く売りたいのか、今売りたい時期なのか、販売期間がどれくらいかかるのか、売却したお金の使い道、どのタイミングで手元に入ってくるのかなど、多くの疑問や不安がある中で不動産会社へ問い合わせられる。

【活躍の場】

不動産会社の営業担当者として、1件のお客様の出会いは大変貴重な経験です。一方、お客様としては、営業担当者との最初の段階で「分からない」といって話を聞かない、「知りたがらない」といって話を聞かない、という経験をする、その担当者に任せたくないという心理が働くと、お客様の関係は途切れてしまいます。

【業務内容】

「貯蓄から投資へのシフト」をスローガンに掲げている。このように、投資市場が拡大する一方、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。

【活躍の場】

入居者ニーズを捉え、土地所有者に健全な土地活用を提案する土地活用プランナー。アパート・マンション・ビルなどは、数億円の事業になることが多く、一度建ててしまえば、その後の軌道修正が非常に難しい。土地活用の失敗は、次世代の方々にまで負の遺産を残すことになる。土地活用を成功に導くためには、マネージメント、建築、賃貸管理、建築、財務、法務、事業収支などの様々な専門知識が必要不可欠である。

【業務内容】

入居者ニーズを捉え、土地所有者に健全な土地活用を提案する土地活用プランナー。アパート・マンション・ビルなどは、数億円の事業になることが多く、一度建ててしまえば、その後の軌道修正が非常に難しい。土地活用の失敗は、次世代の方々にまで負の遺産を残すことになる。土地活用を成功に導くためには、マネージメント、建築、賃貸管理、建築、財務、法務、事業収支などの様々な専門知識が必要不可欠である。

【活躍の場】

入居者ニーズを捉え、土地所有者に健全な土地活用を提案する土地活用プランナー。アパート・マンション・ビルなどは、数億円の事業になることが多く、一度建ててしまえば、その後の軌道修正が非常に難しい。土地活用の失敗は、次世代の方々にまで負の遺産を残すことになる。土地活用を成功に導くためには、マネージメント、建築、賃貸管理、建築、財務、法務、事業収支などの様々な専門知識が必要不可欠である。

特定非営利法人 日本レジデンシャル・セールスプランナーズ協会 居住用不動産仲介のスペシャリスト

「不動産は高額であり、一般の消費者にとっても何回も取引するものではないため、不安や疑問があっても当然だ。不動産仲介士は、居住用不動産仲介のスペシャリストとして、そのようなお客様に、誠実に寄り添い、正しい知識を分かりやすく提供しながら、ひとつひとつの不安や疑問を解消しながら取引をすすめる役割を担う。」

「不動産は高額であり、一般の消費者にとっても何回も取引するものではないため、不安や疑問があっても当然だ。不動産仲介士は、居住用不動産仲介のスペシャリストとして、そのようなお客様に、誠実に寄り添い、正しい知識を分かりやすく提供しながら、ひとつひとつの不安や疑問を解消しながら取引をすすめる役割を担う。」

「不動産は高額であり、一般の消費者にとっても何回も取引するものではないため、不安や疑問があっても当然だ。不動産仲介士は、居住用不動産仲介のスペシャリストとして、そのようなお客様に、誠実に寄り添い、正しい知識を分かりやすく提供しながら、ひとつひとつの不安や疑問を解消しながら取引をすすめる役割を担う。」

「不動産は高額であり、一般の消費者にとっても何回も取引するものではないため、不安や疑問があっても当然だ。不動産仲介士は、居住用不動産仲介のスペシャリストとして、そのようなお客様に、誠実に寄り添い、正しい知識を分かりやすく提供しながら、ひとつひとつの不安や疑問を解消しながら取引をすすめる役割を担う。」

「不動産は高額であり、一般の消費者にとっても何回も取引するものではないため、不安や疑問があっても当然だ。不動産仲介士は、居住用不動産仲介のスペシャリストとして、そのようなお客様に、誠実に寄り添い、正しい知識を分かりやすく提供しながら、ひとつひとつの不安や疑問を解消しながら取引をすすめる役割を担う。」

「不動産は高額であり、一般の消費者にとっても何回も取引するものではないため、不安や疑問があっても当然だ。不動産仲介士は、居住用不動産仲介のスペシャリストとして、そのようなお客様に、誠実に寄り添い、正しい知識を分かりやすく提供しながら、ひとつひとつの不安や疑問を解消しながら取引をすすめる役割を担う。」

投資不動産取引士

「投資不動産取引士は、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。」

「投資不動産取引士は、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。」

「投資不動産取引士は、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。」

「投資不動産取引士は、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。」

一般社団法人投資不動産流通協会 投資家に選ばれる専門家 専用資料で業務の効率化を実現

「投資不動産取引士は、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。」

「投資不動産取引士は、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。」

「投資不動産取引士は、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。このように、投資用不動産に関するトラブルが増加が懸念されている。」

公益社団法人東京共同住宅協会 土地活用(アパート・マンション・ビル建設)の 提案に有益な専門資格

「土地活用プランナー-Rとは」
「土地活用プランナー-R」は、内閣府の認可を受けた公益法人である東京共同住宅協会が運営する土地活用の専門資格です。マーケティング、プランニング、事業収支計画、権利調整、法務、税務等の幅広い専門知識を体系的に身に付け、土地活用のトータルコンサルティングを目指します。

「土地活用プランナー-Rとは」
「土地活用プランナー-R」は、内閣府の認可を受けた公益法人である東京共同住宅協会が運営する土地活用の専門資格です。マーケティング、プランニング、事業収支計画、権利調整、法務、税務等の幅広い専門知識を体系的に身に付け、土地活用のトータルコンサルティングを目指します。

「土地活用プランナー-Rとは」
「土地活用プランナー-R」は、内閣府の認可を受けた公益法人である東京共同住宅協会が運営する土地活用の専門資格です。マーケティング、プランニング、事業収支計画、権利調整、法務、税務等の幅広い専門知識を体系的に身に付け、土地活用のトータルコンサルティングを目指します。

「土地活用プランナー-Rとは」
「土地活用プランナー-R」は、内閣府の認可を受けた公益法人である東京共同住宅協会が運営する土地活用の専門資格です。マーケティング、プランニング、事業収支計画、権利調整、法務、税務等の幅広い専門知識を体系的に身に付け、土地活用のトータルコンサルティングを目指します。

「土地活用プランナー-Rとは」
「土地活用プランナー-R」は、内閣府の認可を受けた公益法人である東京共同住宅協会が運営する土地活用の専門資格です。マーケティング、プランニング、事業収支計画、権利調整、法務、税務等の幅広い専門知識を体系的に身に付け、土地活用のトータルコンサルティングを目指します。

土地活用プランナー

内閣府所管 宅建士の方におすすめの不動産資格
TRP 土地活用プランナー
認定試験 申込受付中!
試験日: 2025年 2/23
試験会場: 東京・大阪・名古屋・福岡・広島・仙台・新潟・札幌

土地活用プランナー-Rとは
「土地活用プランナー-R」は、内閣府の認可を受けた公益法人である東京共同住宅協会が運営する土地活用の専門資格です。マーケティング、プランニング、事業収支計画、権利調整、法務、税務等の幅広い専門知識を体系的に身に付け、土地活用のトータルコンサルティングを目指します。
土地活用の必要性が高まりを見せている今、この資格は土地活用に携わるお仕事に欠かせない必須の資格となります。
【試験対策講座】
お申込・お問い合わせ: LEC東京リーガルマインド
東京都中野区中野 4-11-10 TEL.0570-064-464
http://lpe-jp.com/tojyuko/
公益社団法人 東京共同住宅協会
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-29-4 原宿こみやビル4階

Alternative Dispute Resolution
調停人基礎資格
リスクを防ぐ専門力
不動産投資の専門家
投資不動産取引士
投資不動産取引士とは
投資不動産取引士は専門知識を活かし安心な取引を提供する専門家です。NHKの「首都圏情報ネタドリ!」でトラブルを未然に防ぐ資格として取り上げられるなど注目されている資格です。
(受験申込受付中)
試験期間: 2025年 4月15日(火)~4月20日(日)
申込期間: 2025年 2月28日(金)まで
お申込みはこちらから
投資不動産取引士 検索
一般社団法人
投資不動産流通協会 TEL.03-3524-8551